

ノルウェーの暮らしと 修士留学の紹介

埼玉親善大使レポート② 2021年9月分

オスロ大学修士課程
特別支援教育専攻
河村晏奈

9月は、留学生の友人に寿司や折り紙を通じて日本の文化を紹介したり、ノルウェーの金曜日によく食べられるタコスを作ったりしました。ノルウェーならではのアウトドア文化や、アウトドア活動やスポーツを支援する団体についても紹介したいと思います。



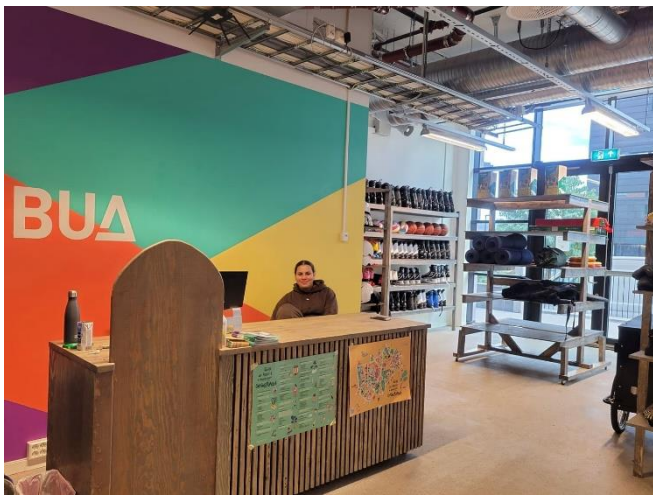
小川町の和紙で作られた折り紙は、「とてもきれいだね」「手触りがいい」「色が素朴ですてき」など好評で興味を持ってもらいました。でも、折るにはとてももったいないと、折られず仕舞いでした。

6年前の留学では、日本から来ました！と言うと、「そうなの！私寿司が大好きなの！！」という返事が来るのがほとんどだった気がします。でも今回の留学では、「今ラーメンにハマっているんだ！」とか「僕の出身地には Obento のお店があってね」など返事も様々で、寿司以外の日本食が広まっている気がします。とはいえ寿司好きの人は多く、特に大人数であれば手巻き寿司をみんなで作って盛り上がりたり、具を変えるだけでベジタリアンやビーガン食にも対応できたりするので、寿司作りは鉄板です。今回は手巻き寿司に加え、出身の小川町から持参した折り紙を紹介しました。今回集まった友人はオランダ、ドイツ、イラン、シンガポール出身でしたが、みんな一度は折り紙を体験したことがあったそうです。一度折り始めるとみんな真剣、無言になっていましたが、楽しかったそうです。

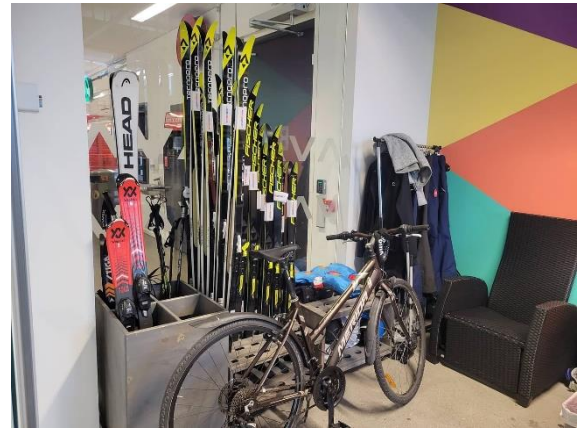


タコスのことをこちらでは「タコ(taco)」と呼びます。海鮮のタコではないので、ご注意ください！

以前スウェーデンに留学していたときもタコスは国民食などと言われよく食べられていたのですが、ノルウェーでは金曜日にはタコスを食べる習慣があります。包み方や食べ方は自由ですが、幼いころからタコスを食べているノルウェー人には色々こだわりがあるそうです。サーモンを入れることもあるそうで、ノルウェーらしいなと思います。



子どもや若者がお金をかけなくても屋内外で活動の機会を増やせるようにすることが目的の非営利団体の BUA(ブーア)。姉妹組織も含めてノルウェー国内に約 170 箇所あって、無料でスポーツ用品を貸し出しています。今回訪れた BUA はキャンプ用品が多くあり、寝袋、テント、ザック、クッカー、ヘッドライト、ハンモックなどなんでも七日間借りられます。他にもアルパイン用品やスケート靴、自転車にローラースケートまでありました。他の BUA ではフロアボールやローラースケートなどの屋内スポーツ用品もたくさんあるようで、冬にはたくさんの方がクロスカントリースキーやスケート用品を借りに来るそうです。



ノルウェーでは焚き火のルールがあり、4/15～9/15 までの間は屋外で火を起こすことが基本的には禁止されています。春や夏の期間は日照時間が長く空気が乾燥するので、火災のリスクが高まるからだそうです。秋や冬は暗くてくもりの日が多くじめじめするので、冬に乾燥する日本の気候とは逆かもしれません。このルールは原則で、禁止されている期間でも火災が起きず安全であることが明らかな場合は、自己責任で焚き火をしてよいそうです。9 月 4 日は Nattinaturen(英語に翻訳すると Night in the nature)といって、一年に一回、ノルウェー国内の何千人という人々が外で夜を過ごすのを楽しむ日でした。学生団体のキャンプに参加して、自然や焚き火を楽しみました。

